

弥生販売版 手形期日出力について

株式会社 HAYAWAZA

本資料では、HAYAWAZA 販売版（以下：HAYAWAZA）で、支払期日の出力方法についてご説明致します。

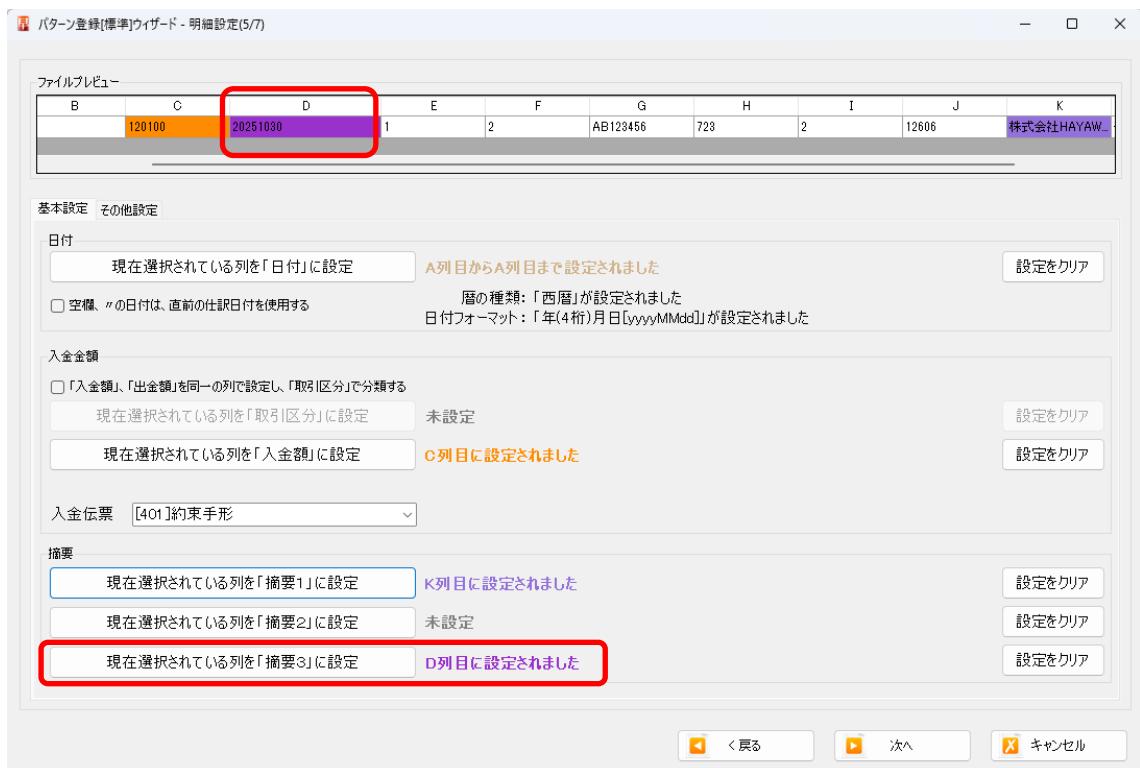
手順 1

【パターン設定で手形期日を読み込む】

手形期日は、一度摘要として読み込みます。

パターンなどで取り込みたいデータを設定してください。

下図の例では、D 列を「摘要 3」として取り込んでいます。



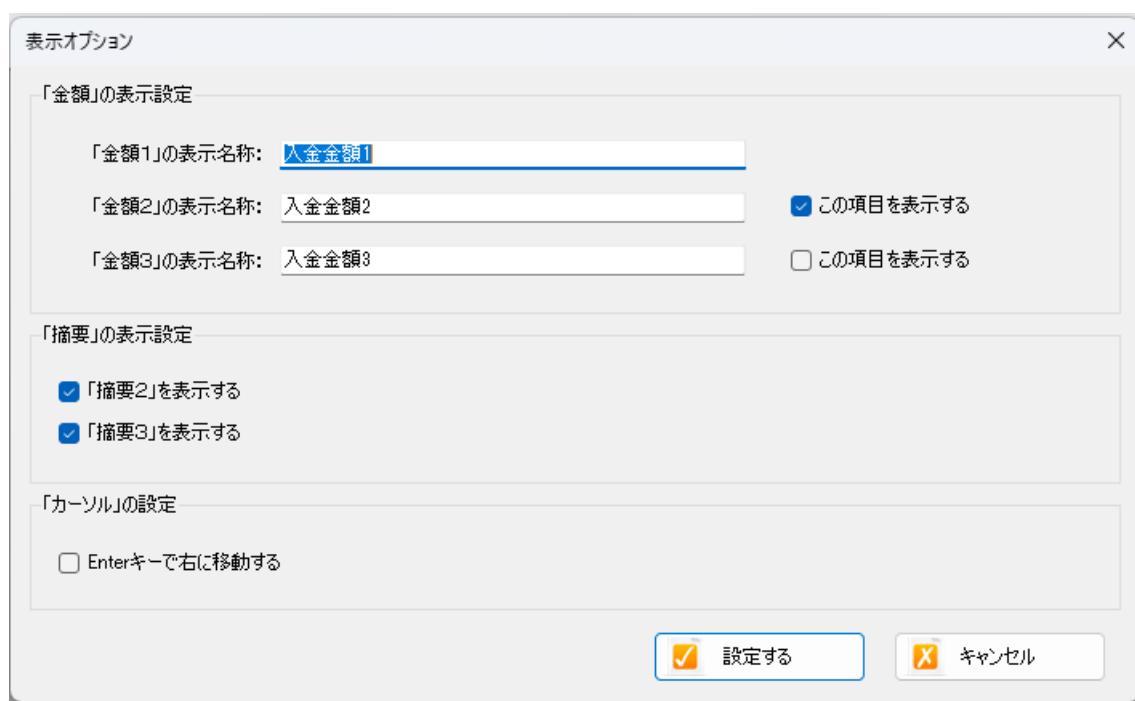
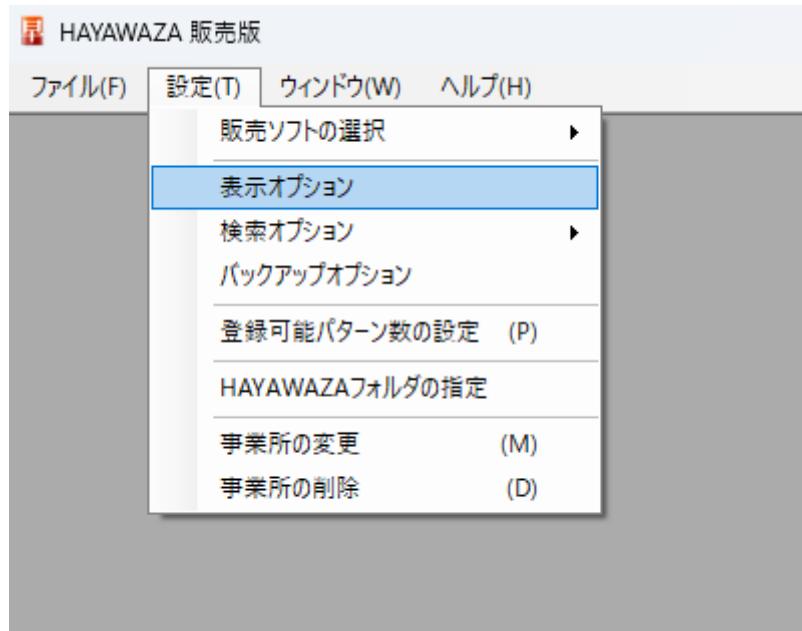
パターンの設定ができたら、通常通りコンバートを行います。

手順2

【摘要2、摘要3を表示させる】

デフォルトの設定では、摘要2、摘要3は非表示となっています。

事業所を一度閉じて、「設定」>「表示オプション」>「[摘要]の表示設定」にて、必要な摘要の項目にチェックを入れてください。



チェックを入れたら、再度事業所を開きます。

チェックは一度入れると、次回以降記憶されたままになります。

手順 3

【反映処理の設定をする】

未設定リストから、得意先を入力して学習させる際、
「得意先」を取り込んだ摘要のみを学習ルールとさせるように設定します。

例では、摘要 1 に得意先、摘要 3 に手形期日を読み込んでいますので、
摘要 1 の内容だけを学習させるようにします。

入金区分 (29)	入金額2	入金区分 (29)	得意先情報 (3,606)	担当者コード	摘要1	摘要2	摘要3
1]約束手形					株式会社HAYAWAZA		20251030

「設定」>「反映処理の設定」を開き、「比較する摘要」「学習する摘要」とともに、「摘要 2、摘要 3」のチェックを外します。

反映処理の設定

比較する摘要 学習する摘要

摘要1を学習する

摘要2を学習する

摘要3を学習する

設定する キャンセル

反映処理の設定は一度登録すれば次回以降、同じ設定が適用されます。

手順 4

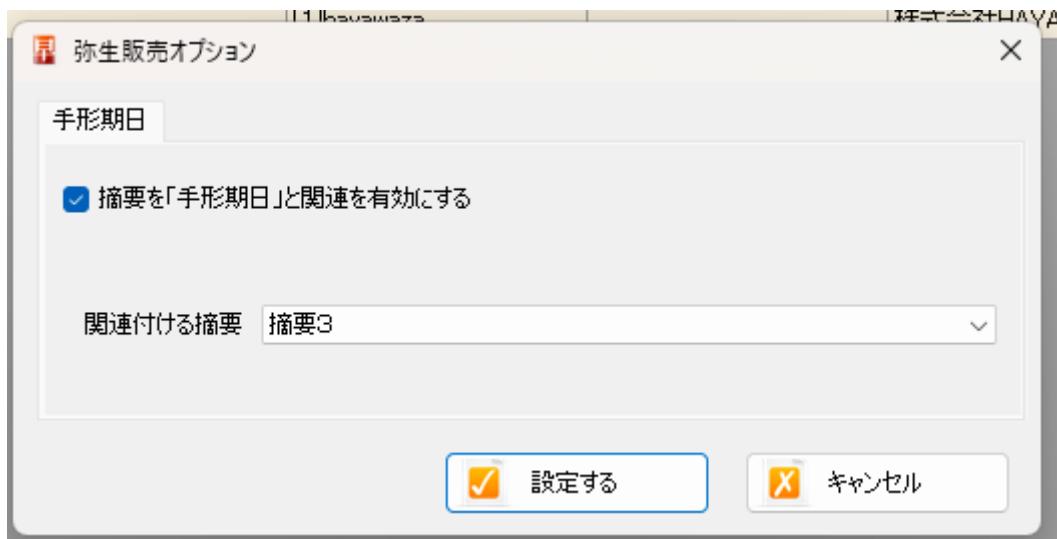
【手形期日出力の設定をする】

未設定リストに戻り、得意先コードを設定し、青いボタンで反映させます。



入金区分 (29)	入金額2	入金区分 (29)	得意先情報 (3,606)	得意先担当者	摘要1	摘要2	摘要3
00 [401]現金手形			[1]hayawaza		株式会社HAYAWAZA		20251030

「設定」>「弥生販売オプション」を開き、
「摘要を「手形期日」と関連を有効にする」にチェックを入れ、
プルダウンより、手形期日として出力したい摘要を選択し、「設定する」のボタンで登録をします。



「手形期日」は一度設定すれば次回以降、同じ設定が適用されます。

これで、準備は完了です。

書き出しを行い、弥生販売へインポートしてください。

※手形期日の取り込みは、西暦の年月日（yyyyMMdd）の形式で取込を行ってください。

※和暦には対応しておりません。

以上